

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	学童クラブ運営事業		コード	102201	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課	
	作成者	勝野 哲矢			
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	生涯学習の推進	施策	青少年の健全育成
		予算科目	学童クラブ運営事業費／報酬給与費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	あり
		設置条例	岡谷市学童クラブ条例		

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要（簡潔に）	市内各小学校に12学童クラブを設置	
目的	対象者	保護者が昼間就労等により、家庭にいない小学校1年生～6年生の児童等
	意図	適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図る。

5 施設の管理運営状況		
指定管理者	30年度指定管理料	円
施設における通常業務	保護者の就労支援 入所中の児童の基本的な生活指導、安全の確保 家庭や学校との連絡の確保	
事業の実施内容	<p>（30年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> <p>○児童福祉法（昭和22年法律第164号）第34条の8の規定に基づき、岡谷市学童クラブの設置及び管理運営を行う。</p> <p>○開設日 学校登校日12学童開設（年間約203日） 学校休業日12学童開設（年間約35日） 土曜日1学童開設（49日）</p> <p>○開設時間 学校登校日 下校～午後6時45分 学校休業日・土曜日 午前7時45分～午後6時45分</p>	
前年度の課題への対応	高学年拡大によって児童一人当たりの面積（望ましい基準は1.65㎡）が確保できない場合は隣接する教室を借用するなど対応している。（神明小学校）	

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	2,972	2,956	2,953	
1日の開設時間（時間）	-	-		
年間利用可能時間（時間）	18,581	18,480	18,430	0
年間利用実績（時間）	18,581	18,480	18,430	
② 年間利用者数（人）	73,115	71,964	69,060	0
有料利用者数	53,515	50,325	54,844	
無料利用者数	9,285	8,420	6,674	
減免措置者数	10,315	13,219	7,542	
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	24.6	24.3	23.4	-
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	52,130,222	51,552,214	57,663,270	60,589,000
経常経費	52,130,222	51,552,214	52,010,766	60,589,000
臨時的経費			5,652,504	
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	8,800,000	8,800,000	8,800,000	7,200,000
正規職員の人数(人)	1.10	1.10	1.10	0.90
③ 合計コスト(①+②)	60,930,222	60,352,214	66,463,270	67,789,000
前年度比		99.1%	110.1%	102.0%
財源内訳				
一般財源	39,060,422	38,388,314	40,849,670	40,119,000
特定財源	21,869,800	21,963,900	25,613,600	27,670,000
* 特定財源の説明	学童クラブ使用料、督促手数料、子ども・子育て支援交付金			
④ 施設使用料年間収入額	17,450,000	18,097,525	18,095,750	19,000,000
⑤ 年間減免措置額	972,900	1,147,225	1,132,050	1,000,000
⑥ 受益者負担割合	35.3%	37.3%	33.3%	33.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	833	839	881	
前年度比		100.6%	105.0%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況（項目6/住民の満足度）は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 96.1%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 100.0%		0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 使用料収入の滞納ゼロを維持する
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 滞納金額が大きくなる前に電話催告、お迎え時の面談、自宅訪問により確実に回収する。
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	A	
13 大規模修繕の予定				
予定事業費	7,000,000	円	予定時期	令和元年度
内容	川岸小学童クラブ拡張工事			

施設の維持管理コスト計算シート

事業名 102201 学童クラブ運営事業

1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00人
合計	0	0	0円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0

施設の運営コスト計算シート

事業名 102201 学童クラブ運営事業

1 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
報酬	23,173,200		23,173,200	
共済費	3,818,756		3,818,756	
賃金	21,806,158		21,806,158	
旅費	13,940		13,940	
需用費	1,603,815		1,603,815	
役務費	683,069		683,069	
委託料	905,178		905,178	
工事請負費		5,508,000	5,508,000	
備品購入		144,504	144,504	
負担金	6,650		6,650	
合計	52,010,766	5,652,504	57,663,270	

2 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	1.00	0.10	1.10人
合計	8,000,000	800,000	8,800,000円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
国交付金	11,102,000	1,511,000	12,613,000	
県交付金	11,102,000	1,880,000	12,982,000	
使用料収入	18,095,750		18,095,750	
督促手数料	18,600		18,600	
			0	
			0	
合計	40,318,350	3,391,000	43,709,350	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	19,692,416	3,061,504	22,753,920